



図2

3 デザインの良し悪しで勝敗の50%は決まる！

眼形成外科ではデザイン命！皮膚を緊張させながら、先端の細いマーカーで線をひき（図3）、その都度、インクがにじまないようにガーゼで余分なインクを吸い取ります。特に重瞼線を切開する場合、マーカーの線が太いと、線のどの部分を切っているのかわからなくなり、イメージどおりの重瞼ができないことがあります。



図3



図4

4 止血は眼形成手術の基本中の基本！

止血は、きれいな術野を確保し、最高の手術パフォーマンスを引き出すために、眼形成手術にとって必要不可欠な手技です。皮膚についた血をこまめに拭いておくと、イライラすることもなく、落ち着いて手術することができます。

以下、まぶたの手術での基本となるバイポーラ止血鑷子を使った止血について説明します。術者は右利きとして進めます。

まず、左手の鑷子にガーゼを持ち、ガーゼの先端を少しだけ出しておきます。そして、そのガーゼで出血点を押さえ（図4）、少しずつずらしてゆくと出血点が現れてくるので（図5）、そこでバイポーラ止血鑷子で止血します（図6）。

バイポーラ止血鑷子は、片方の先端から他方の先端へ電気が流れ、組織を焼いて止血する原理なので、鑷子の先端同士は少し開けておきます。



図5



図6